

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	家族意見の把握の為、意見等を言いやすい環境作りや電話・面会時に聞き取りを心掛けているが、苦情等ご家族が発しづらい事を把握する為の取り組みが十分に出来ていない。	家族意見をより一層把握し反映出来るようにする為、取り組みを充実させる。	苦情等は発しづらいことを考慮し、事業所に御家族意見箱を設置する。また無記名でのご家族アンケートを定期的実施していく。	3ヶ月
2	4	開催曜日、時間帯など平日の日中にしていることで御家族の参加を難しいものにしてしまっている。また固定メンバーによる運営によって話しやすい雰囲気作りが出来ている。その反面議題がマンネリ化しやすい面もある。	更なる充実した推進会議の運営に努める。	構成メンバーに警察、消防、保健所、御家族などを加えることで議題の発展を行う。また開催日時や時間帯を変更することによりご家族参加もして頂き、一層充実した運営推進会議を行う。	6ヶ月
3	33	入居契約時に「重度化における対応指針」について同意書を頂いているが、利用者の状態が変化した際に改めて同意書を頂いていない。	利用者の状態に合わせ対応指針を取り交わすことが出来る。	状態が変化した際、施設・医師・ご家族で行う面談のみでなく、書面上で状態に合った同意書を頂くように徹底していく。現在は既に改善し、実行している。	1ヶ月
4	26	利用者個別の日常記録に関して毎日申し送りで情報共有を図っているが、職員全員が確認したことを証明する仕組みが出来ていない。カンファレンスも行っているが開催頻度が十分ではない。	情報共有の取り組みを強化し、より良いケアに繋げるように努める。	日常記録に職員確認欄を作成する。定期的にカンファレンスを行い情報共有を深めていくことで、より良いチームケアを行う。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。